

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)島本町江川2丁目マンション	階数	地上13F
建設地	大阪府三島郡島本町江川	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年6月 予定	評価の実施日	2023年9月15日
敷地面積	2,510 m ²	作成者	富澤研二
建築面積	513 m ²	確認日	2023年9月15日
延床面積	4,992 m ²	確認者	富澤研二

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+

0 46 (kg-CO₂/年・m²) 92

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.6

音環境	3.3
熱環境	3.9
光・視環境	3.3
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.4

機能性	3.7
耐用性	3.0
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.9

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.5

水資源	3.0
非再生材料の	2.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.2
地域環境	2.5
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>駅近であり国道にも面し、中心部にもアクセスが良く、自然にも恵まれた場所に位置する。13階建てのファミリータイプの共同住宅でRC造で耐震耐火にも配慮されている。2カ所の屋外直通階段とEV1基で、動線もスムーズである。近くに新幹線が走る為、その面にかんしてはT4を用いて日常の音の配慮もしている。</p>	<p>とくになし</p>
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>設備等は標準的ではあるが、自然光、自然風が取り入れる事ができ、通り抜ける様に工夫をしている。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>四季折々の樹木を植え、リラクセスできるように配慮している。また植樹のレイアウトにも配慮し、防犯にも務めている。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>断熱等級4以上を有している</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>駐車場は住戸に対して十分な台数を置けるように配慮した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0072

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)島本町江川2丁目マンション計画						
		建設地	大阪府三島郡島本町江川						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減					3			
②	みどり・ヒート アイランド対策					3			
③	建物の断熱性					4			
④	エネルギー削減					4			
⑤	自然エネルギー直接利用					○			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3		
②	みどり・ヒートアイランド対策								
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.4	4		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									